

民間企業の発想と専門力で 三鷹を変革する！三鷹市議会議員

三鷹ウイークリーレポート
2023年11月20日



おばた 和仁

■おばた和仁(かずひと)
〒181-0012 三鷹市野崎1-1-1
三鷹市役所内立憲民主緑風会
TEL 080-3046-0741(おばた)
Eメール info@obatakazuhito.tokyo
HP <https://obatakazuhito.tokyo>



11月30日(予定)から第4回定例会が始まります！

11月30日(木)	本会議(一般質問) ※第1回請願・陳情締め切り(午後5時まで)
12月1日(金)	本会議(一般質問)
4日(月)	本会議(一般質問、議案上程)
7日(木)	本会議(議案・請願等審議)
8日(金)~13日(木)	各常任委員会
14日(木)	東京外郭環状道路調査対策特別委員会 調布飛行場安全利用及び国立天文台周辺地域まちづくり特別委員会
15日(金)	三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会 ※第2回請願・陳情締め切り(正午まで)
21日(木)	本会議(議案等審議)

■市民の声を大切に

よく、話しやすいと言われます。なにごとにも誠実に対応します！市政への要望など、お気軽にご相談ください。

■損害保険会社で豊富な経験

日本各地で、保険を通じたまちづくりに関わりました。民間企業の発想で、三鷹の課題に取り組みます。

■社会人向け大学院に在学

専門性やエビデンスに裏打ちされた政策を提案します。

■三鷹生まれ、三鷹育ち

私の原点は三鷹ですが、さまざまな地方で生活したことで、三鷹を客観的に見ることができます。

■**現在:** 三鷹市議会議員2期目、まちづくり環境委員会(副委員長)など
三鷹ハンディキャブでボランティア活動
東京大学大学院在学(都市工学専攻/まちづくり研究室)

■**これまで:** 三鷹幼稚園、南浦小、三鷹一中、都立国立高校、横浜国大経済学部、元東京海上日動社員、

■**趣味:** 水泳、テニス、ドラム演奏、社交ダンスなど



立憲民主党 立憲民主編集部 号外

〒101-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

電話 03-3595-9988 (代表)

三鷹市の公共施設マネジメントについて

三鷹市では新都市再生ビジョンを策定して、今後の公共施設の建替えの優先順位、維持・管理の在り方などが示されています。今後、老朽化してくる市内公共施設を建て替えると、おおよそ2,000億円の予算が必要と言われていています。こうした莫大な経費の圧縮のために、先進自治体等では施設の複合化や総量規制など、様々な取り組みを行っています。

現在のところ、三鷹市では、施設の長寿命化によって一斉に老朽化する施設の建替え時期を適切にずらし、無理のない建て替え計画を策定するとしていますが、複合化や総量規制についてはこれからの検討課題であると認識しています。私は、その前段階として、各施設の市民利用度について、全庁的に調査・検討を行うことが重要と考えます。但し、利用度の少ない施設は、無くしてしまうという発想からではなく、市民の利用度の少ない施設はどうしたら利用度を上げることができるかという発想をもって、調査・検討に取り組むことが重要であると思います。

来年5月から井の頭地区でもデマンド交通開始！

10月1日から、大沢地区で行われていた実証運行が、井口・深大寺地区にも拡大されました。エリア内の乗車料金は100円です。杏林大学病院、元気創造プラザ等へのエリア外利用は、300円ですが、高齢者割引(申請手続きが必要です)、障がい者割引を利用することで、100円引きとなります。現在、1日当たり50名程度の乗車数と聞いています。まだまだ少ないように思います。

■運行曜日 月曜日から土曜日 午前8時から午後6時まで

■(日・祝日は運休)予約受付 乗車希望日の1カ月前から乗車直前まで

■予約専用電話 0422-34-3055(月~土 7:30~18:00)

一方、**井の頭地区**で実証運行されていた時速20kmの小型EV車両は、8月末にサイドブレーキなどに不具合が発生し、一時運休しました。このため、10/1から予定していた井の頭公園駅までの運行ルート追加は、一旦取りやめとなりました。今は再開していますが、市もこれを機に小型EVからデマンドバスに舵をきりました。**来年5月からは、小型EVからAIデマンド交通に変更して、実証運行が新たに開始される予定です。**

重点5政策 「住みたくなるまち・三鷹」に全力で取り組みます！

①すべての人が主役となるまち・三鷹

三鷹市自治基本条例に基づいたまちづくり。スクールコミュニティの基盤となる小学校単位の地域運営組織(原則、NPO法人化、近隣住民参加)を全市に展開し、新たなコミュニティ創造(学校3部制)に挑戦します。

②子どもから高齢者まで、みんなが安心のまち・三鷹

人権基本条例(仮称)に基づいたまちづくり。通学路のゾーン30+化、大規模地震対策や地域福祉コーディネーター(現在3名体制)のスピーディな全市展開(小学校区に1名配置で15名体制)にも取り組みます。

③子どもを守り育てるまち・三鷹

画一的な授業を見直し、主体的に学ぶ力を育み個別最適な学びを実現します。また、いじめのない学校に全力で取り組みます。学童保育と地域子どもクラブの一体化、幼稚園・保育所の質の向上にも取り組みます。

④すべての人が活動的になるまち・三鷹

デマンドバスとLRT(次世代型路面電車)誘致をパッケージに、市内公共交通網を充実させマイカーが不要な便利なまちにします。また、空き家の活用により特色ある店舗を誘致し、市内商業を活性化します。

⑤持続可能なまち・三鷹

現在の緑と水の環境を守ります。また、広域連携による安全な食料自給の確立、2050年カーボンニュートラルを目指した再生可能エネルギーの利活用推進に挑戦します。